



いよいよ夏本番！オリンピックにねぶた祭り、海、山…みなさま いかがお過ごしですか？

ひと昔…夏はただでさえ暑いから「暑い〜！！」と聞くと余計に暑く感じてしまう。だから「暑い、って言ったら1回100円ね！！」…なんていうのがあったような…。最近聞かないですね…。知らないうちに脱水や熱中症にかかってしまう今ならばちゃんと「暑いねえ！！」「水分摂ってる〜？」「なんか飲まない？」って声を掛け合いたいものです。最近、こればかり言っているようですが…。



年々夏の暑さが厳しくなり、地球温暖化問題も他人事ではいられない時代、様々な対策や商品も打ち出されていますが、私達ひとりひとりの心掛けがやはり大切です。

中でも住宅用太陽光発電システム導入については、家計にもやさしいということで、注目度も高い取り組みのひとつです。

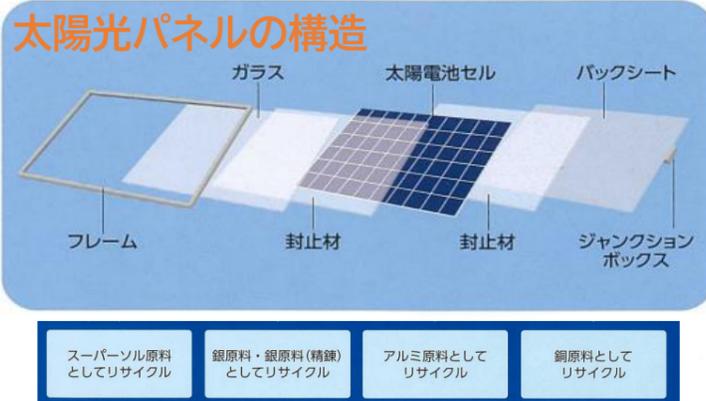
反面、実際の設置費用や私たちの住む北国での設置はどうか、メンテナンスはどうしたらよいか、更に今はこんなに盛り上がっているが、数十年後子供達の時代には、どうなっているのだろうか…。



急速に普及していく反面、TVやネットでは数十年後、寿命が来た際に大量の太陽光パネル廃棄問題についても取り上げられていて、その辺りに不安を感じる方も多いと思います

弊社では先日、岩手県久慈市の蒲野建設株式会社様への太陽光パネルリサイクル施設の視察があり、細分化される様子を見ることができました。

太陽電池に限らず、身の回りにあるものについて使い終わった後のことまで考える習慣を持ちたいものです。



スーパーソル原料としてリサイクル | 銀原料・銀原料(精錬)としてリサイクル | アルミ原料としてリサイクル | 銅原料としてリサイクル

全てリサイクル再資源化

エコな暮らしはこの一歩から！
太陽光発電で明るい未来を。

太陽光やエコ住宅についてなどのご質問もお気軽にお問い合わせください。設置した場合のシミュレーションなどもご依頼いただけますよ！

2024 summer

今年も台座制作で青森ねぶたに参戦しました！



毎年 県庁ねぶた実行委員会のねぶたの台座を、丸喜大工と現場担当社員が総出で作り上げます。

住宅も然り、土台がしっかりしていなければすべて台無しと言っても過言ではありません。

ねぶた祭りを控えた7月後半の暑く風のつよい日、各小屋も仕上げや準備で賑わっている中で作業は行われました。ねぶた制作の方々の思い、運営される関係者のみなさまの思い、そして祭りを楽しみにしているみなさまの気持ちをしっかり乗せて祭りに出陣できるよう、今年も力が入ります。



NEBUTA

今年の県庁ねぶた実行委員会は 大白我鴻氏作『木鹿大王(ぼくろくだいおう)妖術を使う』です。三国志に登場する木鹿大王は、巧に妖術で風や猛獣、毒蛇を扱う架空の人物。彩り豊かな鳳凰や象、大蛇など華やかな構図が目を引く仕上がりです。

地方職員共済組合 青森県支部

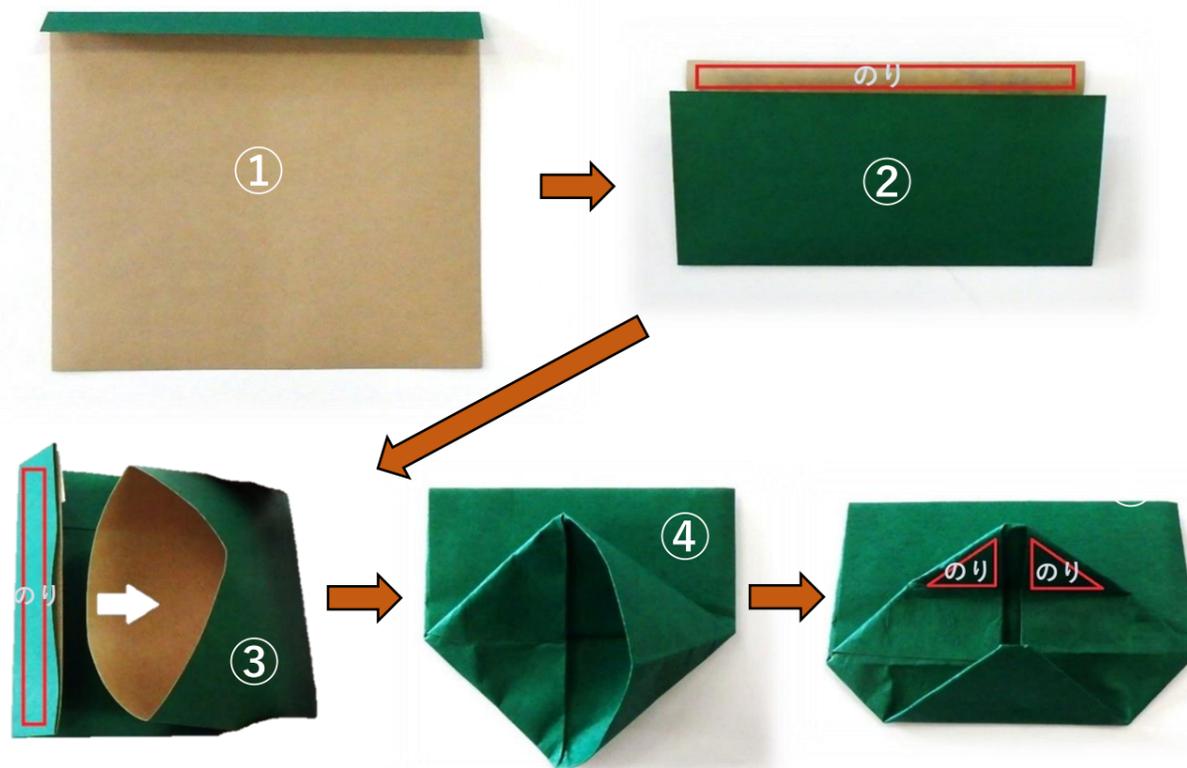
県庁ねぶた実行委員会

プチ工作の時間 新聞紙エコバック

新聞紙を折り紙みたいに折って作るエコバック基本、新聞紙とノリさえあれば、折り紙の要領で丈夫でエコな紙バックが作れます。カラー写真の広告等を利用すれば、すてきなかばんになりますし、家庭菜園でつくった野菜をコレに入れておすそ分けすれば、そのまま保存袋として使用でき、さらに喜ばれること間違いなし？袋の底に広告を入れて補強したり、持ち手を紙紐にしてみたり・・・バリエーションも無限大。インターネットで検索するとたくさん動画が出てきますので、簡単に作ることができるかと思いますが、夏休みの工作にいかがでしょうか。



- ①見開きの新聞紙を1枚広げ上部の日付の線で手前に折ります(バックの表になる面を下にして広げる)
- ②先程折った上部の中に下半分重ねて折り、ノリで止める
(かばん開口部の補強)
- ③両端を折り曲げ端3cmが重なり合うように一方の穴(②の工程で、筒状になっている)に差し込み、ノリ付けします
- ④手前から半分に折り左右を三角に折ります
- ⑤底になる部分を下から上に折り曲げノリをつけ、上も同様上から下に折り曲げノリをつけて貼り合わせます
(④、⑤で、紙袋と同じように底を作ります)
- ⑥見開き新聞紙の1/4サイズを5~10mm幅で数回折りノリで固定し、棒状にしたものを2つ作ります。取っ手としてバックに貼り合わせ、完成です。



BOOKS & MAGAZINE

グラフ青森さんの暮らしを楽しむ 『青森の住宅』 Vol.32 が発売になりました

今回は昨年施工させていただきました小田嶋様宅が掲載されています。新築のきっかけやこだわりポイントなど、楽しく取材をさせていただきました。仲良し家族が楽しく暮らす様子がほほえましく、収納のヒントもたくさんです。

雑誌全体としては「キッチンを考える」が今回のテーマ。掲載されているみなさまのキッチンについてのこだわりポイントや各メーカーの特徴など情報も多く、読み応えたっぷりです。

ぜひ、書店で手に取ってみてくださいね！



暮らしを楽しむ
青森の住宅
Vol.32



夏季休業のお知らせ

誠に勝手ではございますが下記、夏季休業とさせていただきます。

令和6年8月10日(土)~18日(日)

ご不便お掛けいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

この記事に関するお問い合わせ、住宅に関するご質問などは

丸喜(株)齋藤組 浜田展示場 TEL017-729-8832 まで

FAX・メールでも受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

FAX017-762-1648
E-mail: tenjijo@marukisaito.com



HPお問合せフォーム



Instagram



YouTube